

さくらづか

スイミーのなかまのように・・・

3週目に入りました。マスクを外して学校生活を送る子が増えてきました。大阪では、感染が再び拡大傾向にあるのが心配ですが、今のところ欠席もほとんどなく、元気いっぱい学校生活を送ることができています。

4月10日の始業式では、「スイミー」の話をしました。スイミーの話にはすてきな場面がたくさんあります。始業式では、仲間がおおきな魚にのみこまれてしまい一人ぼっちになったスイミーが元気を取り戻していく場面を紹介しました。

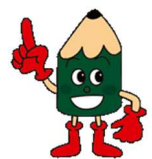
「スイミーはおよいだ。くらいうみのそこを。こわかった、さびしかった、とてもかなしかった。」みなさんもスイミーと同じ思いをしたことありませんか？学校生活を送っていると、一人ぼっちで寂しくなったり、悲しくなったりしたこともあったと思います。友達がいないわけではないけど、そんな風を感じることもあるのでは・・・と思います。そうすると、何となく「学校に行きたくないなあ・・・、友だちしゃべってくれるかなあ・・・、いやなこといわれないかなあ・・・」と心配になってきます。

けれど、うみにはすばらしいものがいっぱいあった。
にじいろのゼリーのようなくらげ、とてもきれいでステキで見ているだけで心が軽くなりそうだな。水中ブルドーザーみたいないせえび、大きくて頼もしくて、きつと力になってくれそう。みたこともないさかなたち、みえない糸でひっぱられている・・・、みんな約束を守りながら泳いでいて力を合わせているようだ・・・何となく安心できるなあ。風に揺れるももいろのヤシの実みたいないそぎんちゃく、楽しそうに踊っているようで心がウキウキするなあ・・・と、次々と元気をもらえる仲間に出会っていきます。そして、スイミーは少しずつ元気になっていきます。海の中には、スイミーと違う生き物がたくさんいて、一人ぼっちになったスイミーを励ましているのですね。学校も同じです。ちょっと自分の周りを見回してみると、一人ぼっちで元気のないお友達がいるかもしれません。そんな時、楽しい話、面白い話、テレビで見た話、アニメ・・・何でもいいので話しかけてみると、そのお友だちはきっと元気になると思うのです。

桜塚小学校はスイミーの世界のように、みんなで助け合える学校であってほしいと願うのです。「困ったことがあった時、助け合う仲間がいる。」「1人ではできないこともお友達の力を借りれば乗り越えられる。」「たくさんの仲間がいる。」とみんなが思える学校になってほしいと願っているのです。でも、いつもいつも仲良くできるわけではありません。時にはけんかをし

たり、意地悪をされたり、意見が合わなかったりもします。そんなときは、ちょっと周りを見回してみよう。そうすると、応援してくれたり、助けてくれたり、どうしたらいいか考えてくれる友達や先生がいます。みんなに力を貸してもらって乗り越えられるといいですね。

スイミーの世界のように、みんなですてきな桜塚小学校をつくってきましょう！



通学路について

昨年度、通学路についてご意見をいただいていたので、各地区の育友会生活指導委員の皆様のご協力により通学路の見直しを行いました。危険箇所等を点検していただいた後、全教職員で再度点検し安全であるかどうかを確認しました。

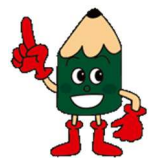


本校は登下校において集団下校を実施していないことから、原則通学路を通る方が望ましいという指導を行っています。その通学路は、交通安全を基本に、車の多い道路をさけるように設定しています。だから、人通りも少ない道が通学路になっています。そうすると、人目の付きにくいところを歩くことにもなってしまう、不審者等の心配が出てきます。また、国道を通らないことにしていますので、遠回りして通学している子どもも少なくありません。近年の教科書も重たく、加えてタブレットも持ち帰らせていますので、重たい荷物をもって長い距離を歩いている子どももたくさんいます。全ての課題を解決できる通学路は設定できませんので、今年度は校区内のどの道を通して通学しても良いことにしました。そして、危険なところだけを児童に示しました。桜塚小の校区は、狭い道でも結構車が通ります。交通事故も少なくありません。昨年だけでも、車と自転車の衝突が2件ありました。大事には至らなかったものの、毎年ヒヤットとする自転車事故は発生しています。

原則、自分の通学路は自分で選び、安全に気を付け歩くことを指導していきたいと思えます。また、一人で帰る時(本校は一人で下校しない指導をしています)、たくさんの友だちと歩いて帰る時、少し暗くなってきた時など、様々な条件が考えられると思いますが、その時どうすればいいかを考えながら通学してほしいと思っています。ただ、近隣で凶悪事件が起こった時や大雨や暴風など心配な時は、これまで通り集団下校となります。その時は、指定している通学路を通ることになります。これは、集団で道を歩くときには「交通安全」を優先させたいと考えるからです。また、1年生には友だちと集団で帰ることを指導していますので、通学路を通ることを推奨しています。



当面の間、このような考えで登下校を見守ります。そして、課題があれば、見直したいと考えています。保護者の皆さまは、お子様とどの道を通るのが自分の命を守ることになるかを話し合ってもらいながら、家庭での指導もお願いしたいと思います。今後も、子どもの命を守ることを第一に判断していきます。ご理解、ご協力よろしくお願ひいたします。



学校からの連絡について

これまで学校からの連絡方法は、コドモンによる配信とプリント等でお知らせしてきました。今年度は、原則子どもとともに読んでほしいものはプリントで配付し、保護者のみ読んでいただきたいものはコドモンのみで配信していきます。できるだけ、コドモンを活用したいですが、教育委員会などからのチラシ等が届く場合についてはこれまでどおり配付となります。